

令和 4 年度 教育委員会事務局 組織目標と成果

課名等	教育総務課	全体	48
		個別	14-01

総合計画 の区分	挑 戦	ひとつづくり											
	最優先課題	次世代の担い手の郷土愛を育む											
項 目		島っこ留学制度による留学生の招致推進											
取組の内容		「島っこ留学制度」は、豊かな学びと地域における体験活動等を願う島外の方を対象に、市内の小・中学校に入学または転学を希望される児童・生徒を受け入れ、対馬市の学校並びに地域の活性化と教育の振興・充実を図る事を目的として、平成27年11月からスタートした制度で、複式学級の解消等も考慮し取り組みます。											
指標（数値目標）		<b>【最終目標】</b> 令和7年度末までの留学生累計30名 <b>【活動指標】</b> HP更新5回以上、SNS発信30回以上による情報発信 福岡での事業説明会 1回 島っこ留学推進協議会の開催 3回 <b>【成果指標】</b> 新規留学生招致3名以上（小学生若しくは中学生）											
SDGs指標								達成時期			令和8年3月		
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
島っこ留学推進協議会			■			■					■		
広報・募集活動		→											
事業説明会（福岡会場）								■					
事前視察								→					
留学生確定											■		

指標 に対する 実績	（※年度終了後に記載します。）	
	・佐須奈小中学校校区に新規1世帯の里親を確保し、1名の留学生を受け入れました。 ・HP更新を2回、SNSによる情報発信を27回実施しました。 ・福岡事業説明会は、新型コロナウイルス感染拡大のため中止しました。 ・島っこ留学推進協議会 3回開催	
評価 価値	（※年度終了後に記載します。）	
	・令和4年度の事前視察は、4家族（留学希望者4名）を受け入れました。事前視察を行った4名全員から留学申込書の提出があり、1名を令和5年度留学生に決定しました。	
	評価記号	△
今後の展開	（※年度終了後に記載します。） 留学生の受入体制を充実させるために、特定校区内で里親募集を行っていましたが、市内全域に募集範囲を広げ、里親の新規開拓を行います。	

【評価記号】◎（目標を上回る実績）、○（目標どおりの実績）、△（目標を下回る実績）、×（目標を著しく下回る実績）、－（評価不能）

令和 4 年度 教育委員会事務局 組織目標と成果

課名等	学校教育課	全体	49
		個別	14-02

総合計画 の区分	挑 戦	ひとつづくり											
	最優先課題	次世代の担い手の郷土愛を育む											
項 目		ふるさと対馬を愛し、豊かな心と確かな学力を身に付けた子どもの育成											
取組の内容		地域住民や保護者ととともに、地域を支えていくことができる人材育成を喫緊の課題と捉え、校種や地域と連携し、対馬の歴史や自然、文化、環境問題等を題材にした学習を通して、将来を生きていく軸を育てるとともに、ふるさとのよりよい未来を創造することができる資質や能力を持った児童生徒の育成に取り組みます。											
指標（数値目標）		①学校訪問時及び各種研修会における指導助言を年間15回以上実施。 ②ICTを活用した授業支援と研修会を年間4回以上実施。 ③学力調査結果の分析と全ての小中学校で学力向上プラン作成。 ④全小中学校でふるさと学習及び総合的な学習の時間の全体計画作成。 ⑤学校運営協議会の全校設置に向けた年次（5年間）計画作成。											
SDGs指標								達成時期			令和5年3月		
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学校訪問時及び各種研修会における指導助言		→											
ICTを活用した授業支援と研修会		→											
学力調査結果の分析と学力向上プラン作成		→											
ふるさと学習及び総合的な学習の時間の全体計画作成		→											
学校運営協議会の年次設置計画作成		→											

指標 に対する 実績	① 年間指導助言回数年間15回以上に対し、学校訪問や研修会等において年間30回以上の講義や指導助言を実施しました。 ② 年間4回以上の目標に対し、ICTを活用した授業支援と研修会を合わせて9回実施しました。（研修会6回、学校を訪問しての授業支援等3回） ③ 全小中学校が学力向上プランを作成し、学力向上に取り組みました。 ④ 全小中学校で全体計画を作成しました。 ⑤ 学校運営協議会の全校設置に向けて令和5年度から9年度までの5年間の計画を作成しました。	
	評 価	学校訪問時及び各種研修会については、目標を大きく上回る指導助言や講義を実施したことで、最新の教育情報の周知や指導の改善をすることができました。 学校を訪問しての授業支援や研修会での積極的なICT活用により学校におけるICT活用を促進することができました。 学力向上プランの作成により各学校の実態に応じた具体的な取組が進められています。 学校運営協議会の導入に向けた年次計画を作成したことで今後の取組を明確にすることができました。
今 後 の 展 開	授業におけるICT活用状況に個人差が見られるので、ICTの更なる活用に向けた研修会を充実させ、教職員一人一人の指導力を向上させます。 児童生徒一人一人の学習状況を経年で客観的に把握するため、全国や県が実施する学力調査等とは別に学力調査を実施します。その結果を活用し、授業改善や指導の工夫をすることで児童生徒の学力を向上させます。	
評価記号		◎

【評価記号】◎（目標を上回る実績）、○（目標どおりの実績）、△（目標を下回る実績）、×（目標を著しく下回る実績）、－（評価不能）

令和 4 年度 教育委員会事務局 組織目標と成果

総合計画 の区分	挑 戦	ひとつづくり												
	最優先課題	次世代の担い手の郷土愛を育む 大人たちが対馬の魅力を知り誇りを持つ												
項 目		生涯・競技スポーツの普及振興												
取組の内容		少子高齢化の影響により、「社会体育施設の利用者数及び使用料収入の減少と老朽化による維持管理費の増大」、「スポーツに対する市民ニーズの多様化」が課題となっています。そこで、体育施設の適正な配置の検討を進めるとともに、市民が利用しやすい施設的环境整備に取り組みます。												
指標（数値目標）		○社会体育施設の適正配置の検討について 体育施設適正配置及び利活用推進委員会の開催：4回 ○社会体育施設の利活用推進について 県内スポーツチーム等と連携したスポーツ教室の開催：2回 市民が利用しやすい施設的环境整備												
SDGs指標		 						達成時期		令和5年3月				
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
施設的环境整備 ※通年		→												
体育施設適正配置及び利活用推進委員会の開催			■			■			■			■		
スポーツ教室の開催に向けたプロスポーツチームとの協議		→		→										
スポーツ教室の開催			■					■						

課名等	生涯学習課	全体	50
		個別	14-03

指標 に対する 実績	○社会体育施設の適正配置の検討について ・体育施設適正配置及び利活用推進委員会を3回開催し、「対馬市体育施設の適正配置及び利活用の推進に関する答申書」が提出されました。 ○社会体育施設の利活用推進について ・一流スポーツ選手等によるスポーツ教室を4回開催しました。 ・使用不可となっていた豊玉総合運動公園テニスコート（Cコート）の人工芝の張替工事が完了しました。	
	評 価	「対馬市体育施設の適正配置及び利活用の推進に関する答申書」により、今後の対馬市の体育施設の存続や廃止等に関する指針が明確となりました。 また、一流スポーツクラブ等によるスポーツ教室は目標を上回る4回開催し、目標を達成することができました。豊玉総合運動公園テニスコートの人工芝張替によって、全島規模の大会が開催できる施設環境に改善することができました。
今後の展開	評価記号	○
今後の展開	今年度完成した答申書に基づき、施設の長寿命化や廃止などについて、計画的に取り組んでいきます。 また、スポーツイベントなどのソフト事業と施設維持管理に係るハード事業を両輪として、効果的な体育施設の利活用の推進に取り組んでいきます。	

【評価記号】◎（目標を上回る実績）、○（目標どおりの実績）、△（目標を下回る実績）、×（目標を著しく下回る実績）、－（評価不能）

令和 4 年度 教育委員会事務局 組織目標と成果

課名等	文化財課	全体	51
		個別	14-04

総合計画 の区分	挑 戦	ふるさとづくり												
	最優先課題	貴重な資産・資源を継承・活用する												
項 目		文化財の保存と活用												
取組の内容		<p>対馬を代表する歴史文化遺産を保存しその価値を後世へ伝えていくために、対馬博物館や観光商工課と連携します。</p> <p>また、過去の調査報告や今後の事業計画を作成し、市民への情報発信を行っていきます。</p>												
指標（数値目標）		<ul style="list-style-type: none"> <li>対馬藩関連遺産群委員会を2回実施し、整備基本計画を策定します。</li> <li>越高遺跡委員会を3回（web2回）実施し調査報告書を作成します。</li> <li>シンポジウムやバス見学ツアーなどの文化財活用事業を2回以上実施します。</li> </ul>												
SDGs指標					達成時期			令和5年3月						
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
対馬藩関連遺産群整備基本計画策定				→										
越高遺跡の調査報告書作成				→										
周知活用事業の開催							→							

指標 に対する 実績	<p>・対馬藩関連遺産群の整備基本計画策定に向けた委員会を3回実施し、金石城跡及び旧金石城庭園の活用に向けての具体的な整備の方法・内容を示した整備基本計画書を作成しました。</p> <p>・越高遺跡調査検討委員会を2回、現地確認調査を1回実施し、報告書の内容について協議を重ねました。</p> <p>・文化財活用事業において、シンポジウムのほか現地見学ツアーを3回、写真パネル展を2か所で実施しました。</p>	
	評 価	<p>・対馬藩関連遺産群整備基本計画書の完成により、今後の金石城跡及び旧金石城庭園の整備・活用の具体的な道筋が明確となりました。</p> <p>・越高遺跡の総括報告書の内容について協議を重ねた結果、より充実した内容にするための方向性を確認することができました。</p> <p>・文化財活用事業の実施により、市民の皆様に対馬の文化財を今まで以上に身近に感じてもらうことができました。</p>
今 後 の 展 開	評価記号	◎
	<p>越高遺跡に関しては、引き続き総括報告書の作成を進め、国指定への具申資料としていきます。また、文化財活用事業を継続して実施し、対馬の文化財への理解を深めていきたいと思いをします。</p>	

【評価記号】◎（目標を上回る実績）、○（目標どおりの実績）、△（目標を下回る実績）、×（目標を著しく下回る実績）、－（評価不能）